

対象国の条件：島嶼国又は離島地域を有する国

研修コース番号：(A) 201984893-J002/(B) 201984976-J002

案件番号：(A) 201984893/(B) 201984976

主分野課題：環境管理/廃棄物管理

副分野課題：

使用言語：(A) 英語/(B) 英語

案件概要

多くの島嶼国において、廃棄物管理は喫緊の課題である。土地の広さの制約から多くの最終処分場が数年で満杯になると言われている。また、多くの最終処分場が環境面から衛生理立により改善される必要がある。更にごみの減量化は非常に重要である。また、同様の理由で、島嶼地域では健全なリサイクル社会の構築が重要である。しかしながら、島嶼地域は人口が少なくスケールメリットが働かない、市場が遠く輸送コストが高くなる等、リサイクル事業が成立しにくい負の特性を有する。沖縄は亜熱帯で本土より離れた環境にある珊瑚礁の島であり、他の島嶼地域と似た環境を持つ。また、沖縄は島嶼地域として同様の廃棄物問題を抱えつつも、リサイクルの推進や環境啓蒙活動等によりこれを克服してきた経験を持つ。本研修は、この沖縄の経験を活かし、同様の条件である島嶼地域からの研修員の廃棄物管理能力を高め、島嶼地域における廃棄物管理の課題及びグッドプラクティスを共有し、実現可能な改善策（アクションプラン）を策定することを目的とする。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】
研修員所属組織における廃棄物管理の課題が整理されるとともに、改善に向けての計画（アクションプラン）が作成される。

【成果】
1. 沖縄における廃棄物管理に関する過去の状況と改善への取り組みの知識・経験を参考として、自国の廃棄物管理に関する課題が整理される。
2. 住民・企業の参画を含めた廃棄物管理の導入手法を習得する。
3. 最終処分場に係る現状及び諸問題を理解するとともに、福岡方式（準好気性衛生理立方式）による改善手法を理解する。
4. 島嶼地域における廃棄物管理の課題及びグッドプラクティスを共有する。
5. 所属組織における廃棄物管理の課題改善に向けての計画（アクションプラン）が作成される。

【対象組織】
廃棄物管理に係る中央省庁、地方自治体、関連団体・公社・企業・NGO等

【対象人材】
1. 廃棄物管理に係る中央省庁、地方自治体、関連団体・公社・企業・NGO等に所属する人
2. 廃棄物管理分野経験3年以上
3. 大卒または同等

内 容

- 1-1 ジョブポート発表【討論】
- 1-2 日本の廃棄物処理行政・法規【講義】
- 1-3 那覇市の廃棄物管理（分別・収集・最終処分・広報・環境啓発）【講義、見学】
- 1-4 産業廃棄物【講義、見学】
- 1-5 ごみ組成調査・分析【講義・実習】
- 1-6 廃棄物管理計画立案・策定【講義・演習】
- 2-1 環境啓発活動【講義、実習】
- 2-2 リサイクル概論（資源化の仕組み、リサイクルビジネス）【講義】
- 2-3 リサイクル実例（金属、ガラス、ペットボトル、リターナブルびん、紙）【見学】
- 2-4 コンポスト概論及び製作【講義、実習】
- 3-1 最終処分場の概要と課題【講義、見学】
- 3-2 福岡方式（準好気性衛生理立方式）によるモデル処分場オンサイトトレーニング【講義・実習】
- 4-1 島嶼地域における廃棄物管理の課題及びグッドプラクティスの共有【講義、討論】
- 5-1 アクションプラン作成・発表【演習・討論】

本邦研修期間	(A) 2020/1/8～2020/2/2 (B) 2019/7/24～2019/9/7
担当課題部	地球環境部
所管国内機関	(A) JICA沖縄（研修業務） (B) JICA沖縄（研修業務）
関係省庁	
実施年度	2019～2021

主要協力機関 (A) 調整中/(B) 調整中

特記事項
及び
ホームページ